

天神 改装ラッシュ

「渡辺通り」西側活況、東側にも波

九州一の繁華街、福岡・天神で、商業施設の改装が相次いでいる。天神を南北に貫く目抜き通り「渡辺通り」を挟み、これまでは西側の改装などが続いたが、東側でも新たな動きが出てきた。各店はお客を呼び込もうと、目新しさを競っている。

18日、天神・渡辺通りの東側のファッションビル「天神コア」が改装オープンした。3年ぶりの改装の



天神コアの地下2階には新たな婦人服店などが出店した＝18日、福岡市中央区

売りの一つが、7階の「フールドコート」。木目調の広々としたスペースにソファや大きなテーブルが並び、自

由に席を選んで、買ったものを食べられる。

10〜20代の女性向けファッションのイメージが強い天神コアだが、館長の後藤美奈氏は「お客様の興味を衣料だけでなく多様化している。幅広い世代の方が来られるように厚みを増した」と話す。

秋元康氏が企画

主力の婦人服も強化した。地下2階には、作詞家の秋元康氏が企画に携わった「RENNAI KEIKAKU」（レンアイケイカク）など12店が新たに开店。衣料のほか、雑貨の品ぞろえも増やした。

最近、渡辺通りの東西では、西側の話題が目立っていた。昨年9月、福岡三越が地下1階を雑貨や衣料品の専門店街「ラシック」に改装。同11月には福岡パルコの新館が開業し、今年4月は「ソリアプラザ」が改装オープンした。



西側は「天神西通り」もにぎわう。若者向けファッション店が並び、今年3月に「無印良品」が東京・銀座に次ぐ大型店を開業した。市場調査会社「ジューコム」の神崎依子取締役は

「西側は歩行者天国の試験的实施や新規出店など話題に事欠かず、おしゃれなゾーンとして勢いがある印象を持つのでは」という。

「新トレンド発信」

一方の東側も、今秋にかけ店舗の改装などが続く。博多大丸では今月、シニア向け女性誌「いきいき」が掲載商品などを扱う店を

オープン。10月には訪日外国人を取り込むため、家電量販店のラオックスも大丸内に新店する。九州経済調査協会の小柳真二研究員は「東側は今後、建て替えなど大規模な再開発のポテンシャルは高い」とみる。

東西で競うように出店と改装が続く天神地区。天神コアの後藤館長は「天神は点ではなく面として発展するのが良いところ。天神コアも常に新しいトレンドを発信していきたい」と話している。

（柴田秀並）